

21\_21 DESIGN SIGHT 企画展

pooploop

21\_21 DESIGN SIGHT Exhibition

展覧会ディレクター：佐藤卓、竹村真一

Exhibition Directors: Taku Satoh, Shinichi Takemura

展

ポップループ  
ちんちん

2024.9.27 (Fri.)

2025.2.16 (Sun.)

開館時間：10:00-19:00 (入場は18:30まで)  
休館日：火曜日 (2月11日は開館)、年末年始 (12月27日-1月3日)

Opening Hours: 10:00-19:00 (Entrance until 18:30)  
Closed on Tuesdays (Except February 11), December 27-January 3

六本木アートナイト特別開館時間  
9月27日(金)、28日(土) 10:00-22:00 (入場は21:30まで)

Special opening hours for Roppongi Art Night:  
September 27 (Fri.), 28 (Sat.) 10:00-22:00 (Entrance until 21:30)

会場：21\_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2 Venue: 21\_21 DESIGN SIGHT Gallery 1 & 2

主催：21\_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団 後援：文化庁、経済産業省、港区教育委員会  
特別協賛：三井不動産株式会社 特別協力：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社、株式会社LIFULL  
協賛：株式会社TSDO 協力：INAXライブミュージアム

21\_21

# ゴミうんち展

世界は循環しています。ひとつのかたちに留まることなく、動き続け、多様に影響し合い、複雑に巡っています。その結果、いわゆる自然界においては、ゴミもうんちもただそのまま残り続けるものはほとんどありませんでした。しかし、いま人間社会では、その両者の存在は大きな問題となっていますし、文化的にもどこか見たくないものとして扱われています。

本展では、身の回りから宇宙までを見渡し、さまざまな「ゴミうんち」を扱います。そして、ゴミうんちを含む世界の循環を「pooploop」と捉えます。これまで目を背けてきた存在にもう一度向き合くと、社会問題だけではないさまざまな側面が見えてきました。決して止まることのないこの世界。欠けていたパーツがピタリとはまると、きっと新たなループが巡りはじめます。

現代の「ゴミ」や「うんち」という概念は、なぜ生まれたのか。「循環」が難しいテーマであることは重々承知の上で、何ができるのかを探っている。難しいテーマをいかに面白くできるか。そこにもデザインが試される。

◎ 展覧会ディレクター 佐藤 卓

この星には本来、ゴミもうんちも存在しない。また、うんちを見事に pooploop して100万都市を運行した「江戸のエコ」も、実は現代と同じ環境危機と資源枯渇へのクリエイティブな適応(=V字回復)だった。それを今度は地球規模でやる。その準備は整いつつある。

◎ 展覧会ディレクター 竹村 眞一

入場料(税込): 一般1,400円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料  
※各種割引、オンラインチケットの購入についてはウェブサイトをご覧ください。

Admission: General ¥1,400 / University students ¥800 / High school students ¥500 / Junior high school students and under may enter for free

\*Please refer to our website for more information on discounts and online tickets.



21\_21 DESIGN SIGHT

所在地: 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン  
Tel: 03-3475-2121  
アクセス: 都営地下鉄大江戸線「六本木」駅、東京メトロ日比谷線「六本木」駅、東京メトロ千代田線「乃木坂」駅より徒歩5分  
Address: Midtown Garden, Tokyo Midtown, 9-7-6 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 JAPAN  
Access: 5 min. walk from Roppongi station (Toei Oedo Line / Tokyo Metro Hibiya Line) and Nogizaka station (Tokyo Metro Chiyoda Line)

上記内容は予告なしに変更される場合があります。ご来場の際は、事前にウェブサイトで最新情報をご確認ください。

Above information may change without notice. Please see the latest information on our website before your visit.

www.2121designsight.jp



Our world is in constant circulation. Things change form and move continually, influencing each other in complex and diverse ways. In the wildness of nature, almost nothing endures in one state. There is neither waste nor excrement. Yet both have become serious problems in today's society. Culturally, waste and excrement are marginalized. They are regarded as things to be ignored.

This exhibition looks at our environment. It ranges from close surroundings, to outer space, focusing on all manner of "waste and excrement." We define the world's various circulations as a "pooploop." By forcing a confrontation with things we habitually avoid, we have discovered the pooploop's huge range and dimension, and not only as a social issue. Circulation is constant. It never stops. If you find a piece of something missing somewhere, it will mean a new loop has surely begun.

◎ 参加作家: 井原宏路、veig、岡崎智弘、小倉ヒラク、Alternative Machine、狩野佑真、北千住デザイン、ザック・リーバーマン、佐藤卓、清水彩香、STUDIO SWINE、高尾俊介、竹村眞一、TatsuyaM、角尾 舞、デイブ・ホワイト、中山晃子、蓮沼執太、マイク・ケリー、松井利夫、山野英之、吉田勝信、吉本天地、他



井原宏路「cycling-black dog-」  
(撮影: 副島泰平)



佐藤卓「砂時計 (TIME-A)」  
(撮影: Satoshi Asakawa)



veig「漏庭」  
(撮影: 田川隼輝 / nando inc.)



狩野佑真「Rust Harvest」  
(撮影: Gottingham)



吉本天地「気配」  
(撮影: Yuriko Takagi)



松井利夫「サインেশョー」  
(撮影: 白石和弘)

アートディレクター: 岡崎智弘

企画協力: 狩野佑真、清水彩香、角尾 舞、蓮沼執太、吉本天地

会場構成: 大野友資 (DOMINO ARCHITECTS)

会場グラフィック: 田上亜希乃

21\_21 DESIGN SIGHT ディレクター: 佐藤卓、深澤直人

アソシエイトディレクター: 川上典李子

プログラム・マネージャー: 中洞貴子